

肝がんを初期のうちに見つけられるのは、肝臓の専門医です。

超音波検査です

お腹の赤ちゃんを見る
のと同じ機械です

ちょっと
ヌルっとします



肝臓の内部を
専門医が観察します

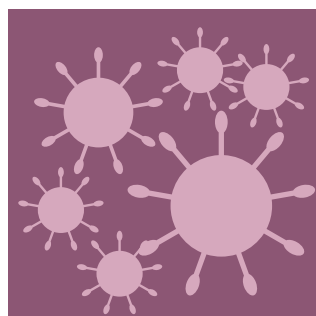
検査は20分ほどで
終わります

半年に一度が
目安です

検査を受けられる医療機関、費用などについては裏面をご覧ください。

“健康キャリア”として、一生すごすのが最善です。

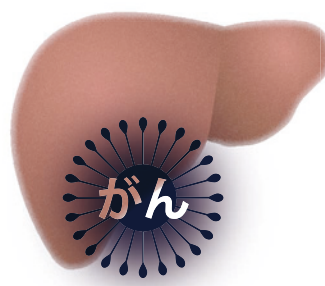
ウイルスの暴走を見逃さないで。



B型肝炎ウイルスは多くの場合、キャリアの体内で眠ったようにおとなしくしています。ところが感染から何十年もたって突然暴れだし、がんを引き起こすことがあります。肝臓はとても我慢強い臓器なので、なか

なか自覚症状は出ません。自覚症状が出たときには、すでに末期がんというケースも多いのです。感染から何年たっても、油断できません。

初期の肝がんなら、勝ち目があります。



肝臓は食事から吸収した栄養を身体が必要とする物質に変えたり、有毒物質を解毒するという重要な役割を持っています。「体内の化学工場」と言うべき、もっとも大きな臓器です。ですから、がんが小さいうちであれば、がんと一緒に肝臓を部分的に切除しても、残った肝臓が十分な機能を保つて、健康を取り戻せる可能性は高いといえます。

から、がんが小さいうちであれば、がんと一緒に肝臓を部分的に切除しても、残った肝臓が十分な機能を保つて、健康を取り戻せる可能性は高いといえます。

初期の肝がんを見逃してしまうと起こること。

自覚症状

肝臓は「沈黙の臓器」と呼ばれ、がんが発生してもなかなか自覚症状は現れません。しかし末期がんまで進むと、著しい体重減少、全身のかゆみ、むくみ、疲労感などの多様な症状が現れます。

肝性脳症

肝臓の有毒物質を解毒する能力が低下することで、脳の神経が有毒物質に冒される「肝性脳症」という症状が出る場合があります。認知症のような状態になったり、昏睡状態に陥ったりします。

打つ手なし

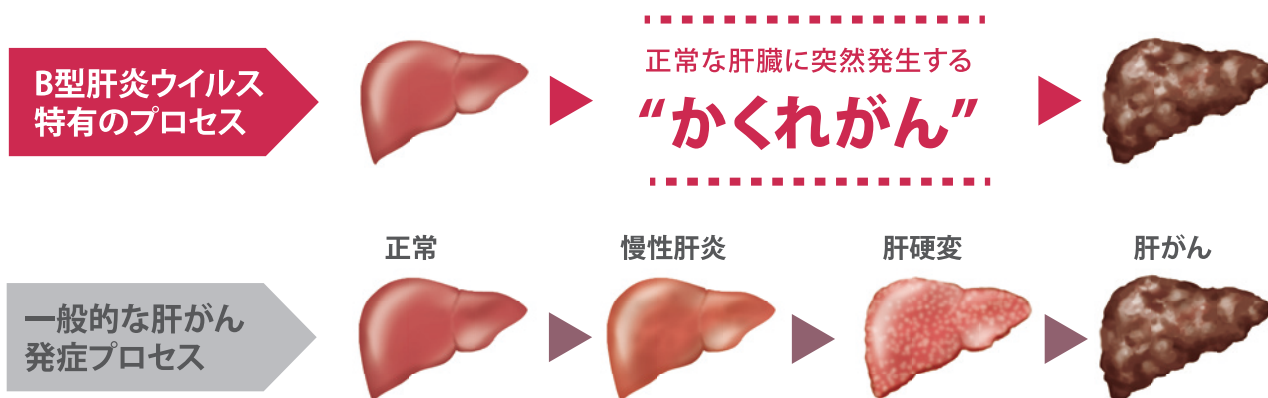
肝臓にがんが広がってしまうと、切除手術は行なえません。肝臓は重要な臓器で、切除できる部分は限られているからです。また、肝臓は放射線に弱く、化学療法も効きにくいとされています。

長い戦い

がんというと治療のつらさを連想する方が多いでしょうが、肝がんは進行してしまうと治療はとても難しく、行える治療方法がない場合があります。そうなると、進行する症状との長い戦いになります。

“かくれがん”を見逃さないで!

自覚症状がなく、肝機能の数値に異常がないまま、がんが進行していることがあります。



このリーフレットは、平成29年度厚生労働科学研究費 肝炎等克服政策研究事業 職域等も含めた肝炎ウイルス検査受検率向上と陽性者の効率的なフォローアップシステムの開発・実用化に向けた研究班で作成されました。

佐賀大学医学部附属病院
肝疾患センター

0952-34-3731

月～金 10:00～16:00

佐賀県の肝臓相談窓口にお電話を

お近くの肝臓専門病院をご案内します。

検査費用は助成が受けられます。
無料で検査を受けられる場合もあります。詳しくはお電話を。

B型肝炎ウイルス陽性とわかったら、

× 様子を見ましょう。

○ 様子を見てもらいましょう。

肝がんは末期になるまで自覚症状が出ないケースが大半です。半年に一度20分ほど、検査にお時間をください。